

## 会 議 録

会議名 (審議会等名)	令和 6 年度 相武台地区まちづくり会議 第 2 回全体会		
事務局 (担当課)	相武台まちづくりセンター 電話 0 4 6 - 2 5 4 - 3 7 5 5		
開催日時	令和 6 年 8 月 2 2 日 (木) 午後 6 時から午後 8 時 4 5 分まで		
開催場所	相武台まちづくりセンター 1 階 まちづくり会議室		
出席者	委員	2 2 人 (別紙のとおり ※重複含む)	
	その他	1 人 (自転車用プレート作成実行委員会)	
	事務局	6 人 (アセットマネジメント推進課 2 人、都市計画課 2 人、相武台まちづくりセンター 2 人)	
公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	2 人
公開不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第	1 開会 2 会議の傍聴 3 議題 (1) 地域活性化事業交付金の審査について (2) もえぎ台小学校跡地の活用検討に係る情報提供について (3) まちづくりを考える懇談会について ア 開催日程について イ 懇談会のテーマについて ウ 座席表及び役割分担について (4) 各団体等からの依頼事項、お知らせ事項 4 その他		

## 議 事 の 要 旨

主な内容は次のとおり。

### 1 開会

### 2 会議の傍聴

傍聴希望者が2人おり、会議に諮り傍聴が許可された。

### 3 あいさつ

会長よりあいさつがあった。

### 4 議題

#### (1) 地域活性化事業交付金（自転車用プレート作成事業）の審査について

自転車用プレート作成実行委員会の佐藤委員長より、資料について地域活性化事業交付金申請の概要説明があり、交付することについて了承された。

#### (2) もえぎ台小学校跡地の活用検討に係る情報提供について

担当課より資料について説明を行い、次のとおり意見等があった。

(根本委員) もえぎ台小学校は市街化調整区域との説明があったが、今回の説明は、跡地の活用についてはこのことを前提としてほしいという趣旨か。

(市) 跡地利用の検討に当たり、皆さんの理解が深まるよう説明したものである。

(根本委員) 地域として活用を考えたときに、市街化調整区域では実現できないものであった場合、現状の都市計画を見直すということは可能なのか。

(市) 都市計画の制度として、市街化区域と市街化調整区域との線引きをおよそ10年に1度見直すこととしている。ただし、見直しのルールがあり、市街化区域内での人口増加や工業需要の見込みがあれば、市街化区域が足りなくなるとして、住居系や産業系として市街化調整区域を市街化区域に編入できる。

麻溝台・新磯野地区の土地区画整理事業においては、第一整備地区は既に市街化編入済みであり、もえぎ台小学校を含む残りの地区については、計画的なまちづくりが進むと見込みが立った段階で市街化編入することとなっている。まだ編入できる段階ではないため、用途地域もはっきりしていないが、人口増加が見込めないことから産業系でしか市街化編入はできない。実際にどうなるのかは、地権者と新たなまちづくりを考えていく中で決まっていく。

(根本委員) 建付けは理解できたが、もえぎ台小学校の跡地活用を提案しても、用途地域や市の活用方針が決まっていないうちで、10年に1度の見直しのタイミングに合わないなどを理由に、できないと言われてしまうのか。産業系としての活用に繋がれば実現できるのか。そのあたりがわからなかった。

(松嶋会長) もえぎ台小学校は地域にとっては大切な場所であり、市の言いなりにならないよう、訴え続けることが重要だと考えている。現状、時期的なものが決まっていないうちで、年明けぐらいには市の活用方針素案が出てくると思って

おり、それを踏まえて相武台としての活用を市に要望していきたい。ただし、色々と複雑な課題があり、例えば土地区画整理の減歩などで土地を今のまま利用できるとは限らない。また、人口減少により住居系としての土地利用はできないとのことだが、市として人口が増えるような対策も考えてほしい。

(迫委員) 相武台地区全体の土地利用について、地域に説明はされたのか。

(市) 令和2年3月の都市計画マスタープランの策定に当たり、まちづくり会議で土地利用方針について説明し、ご理解いただいたと承知している。

(迫委員) まずは、もえぎ台小学校の跡地活用について、市の考えを聞きたい。

そして、まちづくり会議の場では、もえぎ台小学校跡地だけではなく相武台地区全体で考えていく必要があると思うので、次の線引きなども含めて、10年、20年先の相武台地区を市はどうしていきたいのかも聞いてみたい。

(市) もえぎ台小学校について、閉校後の現在の土地利用として何ができるのか、市街化編入後に何ができるのかをセットで考えているところである。まずは、年明け以降となるが、市が考える跡地活用方針の素案を説明させていただく。

(笹原委員) 令和2年度に都市計画マスタープランを策定した時点では、学校が存続する想定だと思われるが、その時点での土地利用の考えを教えてください。

(市) もえぎ台小学校を含む市街化調整区域については、「新たな都市づくりを推進する地区」という位置付けで、土地区画整理事業による基盤整備を見据え、産業系の土地利用を視野に入れた市街化編入を目指している。

(笹原委員) 相武台地区の高齢化や人口減少などにより考えられた事業なのか。

(市) 「拠点づくり」を目指した地区であり、以前の計画では住居系の土地利用も含まれていたが、社会情勢の変化により住居系での土地利用が難しくなったため、産業系の土地利用として市街化編入に向けたまちづくりを進めている。

(溝口委員) 産業系の土地利用という言葉が出てきているが、資料にある用途地域でいうと商業系となるのか、それとも工業系となるのか。

(市) 工業系の用途地域を指している。

(溝口委員) そうなると、今後は、工業専用地域・工業地域・準工業地域の用途地域に編入されることを念頭に置いて検討していく方がよいのか。

(市) 準工業地域など住宅を建てられる用途地域になったとしても、基本的には地区計画により住宅の建築は制限されると思われる。どの用途地域になるかは決まっておらず、土地区画整理事業に見合う用途地域となると思われる。

(高橋副会長) 市街化区域と市街化調整区域の線引きを行うのが市であるのならば、住民の要望を聞いてくれれば実現できるのではないか。

(市) 政令指定都市である相模原市は線引きを決定する権限を持っているが、決定には県や国との協議が前提となる。人口や工業の伸びを踏まえる都市計画のルールは全国一律の考えであり、定めているのは国土交通省であるため、協議

をしてもルールに反する内容では国に認めてもらえず、決定に至らない。

(荻原委員) 土地区画整理事業により、2,000戸ほどの住宅が入る計画だと聞いていたが、市はいったんはそう決定したのではないか。

(市) 市街化編入の候補地として定めたが、実際に編入されるのは土地区画整理事業の事業性が確立されたときとなる。当時の人口の伸びしろがあった線引き期間内であれば住宅系として編入できたが、期間内に事業がまとまらなかったため、人口減少下の次期線引き期間では住宅系としての編入はできない。

市が人口が増えるような施策を取り、市街化区域内での人口が伸びたなら、今後の線引き見直しでは住宅系の市街化区域として編入できるようになるかもしれないが、本当に実現されるかどうかは不明である。

(荻原委員) 相武台は資料5ページ左図のように整理ができていないと思うが、都市計画を適用したまちづくりはできるのか。まっさらな土地であればわかるが、既に利用されている土地でのまちづくりはありえないと思っている。

(市) 地権者の同意が得られれば、市街化区域内でも土地区画整理事業は可能である。ただし、事業の制度上、道路や公園などの整備を行うために、減歩(地権者による土地の一部寄付など)が必要であり、これは地権者の負担となるので、土地を提供してでもやろうという意欲がある地域でないとは実現しない。

(市) かなり議論が拡散してしまっている。年明け以降に跡地活用方針の素案を示すので、それに基づき改めて議論いただければと思う。

(笠原委員) 次の線引きについては、いつ頃検討されるのか。

(市) 現在は第7回線引き期間となり、令和7年12月までが計画期間となる。次回の第8回線引きについては、一昨年度から検討を始めており、線引き見直しの基本方針についてのパブリックコメントを先月末に終えたところである。来月頃には基本的な考えがまとまり、基本方針が策定されることとなる。

(松嶋会長) 今のまちを変えることは難しい。年度末頃に市から出てくる素案を踏まえ、土地区画整理事業を絡めて、跡地活用についてを検討していきたい。

### (3) まちづくりを考える懇談会について

#### ア 開催日程について

会長より資料のとおり候補日を伝えた。

#### イ 懇談会のテーマについて

一部の提案者より説明や補足等があり、次のとおり意見等があった。

(松嶋会長) 役員会において、1つ目のハザードマップについては、通学路の危険箇所などが載っている安全安心マップがあるので、もえぎ台小学校の閉校後に作り直せばいいのではと意見があった。4つ目のゴミ置場については、自治会が主体となって取り組んでいるため、まずは自治会に提案してほしいと意見があった。そこで、2つ目と3つ目をまとめて、もえぎ台小学校の跡

土地利用についてを懇談会のテーマとしてはと意見があったが、いかがか。

(小池委員) テーマとすることはよいと思うが、小学校の跡地活用は他市町村でもやっており、相武台地区としてどうしたいのか、もえぎ台小学校のあるべき姿は何なのかがわからなかった。先ほどのような市へのバラバラな質問にならないよう、方向性は決めるべきではないか。

(高橋副会長) 内容について、これから皆さんで意見を出し合って決めていく。

(松嶋会長) テーマとしては「もえぎ台小学校の跡地活用」としたい。発表は、提案いただいた今村委員か笹原委員にお願いしたい。→笹原委員に依頼。

(笹原委員) 提案したものはたたき台であるが、要点は初めの6行にまとめている。どれを焦点にするのか、その他の提案があるのか、皆さんの意見をいただいた上で、方向性を決めていければと思っている。

(溝口委員) 過去2回提案した内容も含め、皆さんの総意としての大きな方向性を決めてはどうか。これまでの懇談会では、自分の考えた内容をそのまま発表し、まちづくり会議として考えていきたいと伝えたが、当時は市として何も決まっておらず、許されたと思っている。ただし、そろそろ具体的な提案としないと、説得力がないものになると考えている。

(小池委員) 提案としては素晴らしいが、ただ提案するだけでは、費用的に実現できない言われてしまう。例えば、提案施設の利用者数や目標を想定するなど、それぐらいの気持ちで相武台地区としてまとめて提案すべきである。

(溝口委員) 前回の懇談会では、市とまちづくり会議とで跡地活用プロジェクトチームを設けてほしいと締めくくった。専門的・具体的な内容については、そのプロジェクトチームができないと話が進められない。

(長堀委員) 一足飛びに具体化することは難しい。まずは、たたき台の要点の方向性がバラバラなので、いくつかに集約すればよいと思う。個人的には、1つ目の産業系の建設により人の流れが見込めるとあるが、国道129号にあるようなロジスティクスの建物では人は来ないのかなと思う。

(笹原委員) 建物に人が来るのではなく、そこを広告媒体として通りすがりや噂で広がることを利用して、人を集めたいと考えている。高齢化など、相武台地区の弱点を強みにしていきたいと思っている。

(迫委員) 懇談会では最高権限の市長と会うので、どういうことを覚えてもらうのか、意識してもらうのか、目的を明確にすべきだと思う。

(川崎委員) 「街の駅」はネーミングとして印象強いと感じた。駅には通過、出発や到着など色々なイメージがある。「街の駅」を初めて聞いた人にとって、そこに集っていきたくなるようなものにしたいと思う。

(松嶋会長) 懇談会では、これらの内容について、市と連携してプロジェクトとして進めていきたいと締めくくればよいのかなと感じた。

(笹原委員) ワクワクするものを考えていきたいと思う。「街の駅」の価値と利便性をしっかり伝え、実現するためのイメージを示して、この「街の駅」が相武台にあることがどれだけ素敵なことかを訴えられたら。

(松嶋会長) プロジェクトの具体的な内容を伝えれば市長も覚えてくれる。

(溝口委員) 市の跡地活用の考え方としては、行政課題への対応が第一であり、年明けには示されることとなる。市の活用見込みがない場合に地域での活用となるが、それがまだ見えていない状況である。

(笹原委員) まずは、皆さんの考える「街の駅」のイメージを知りたい。

(溝口委員) これまでの懇談会で皆さんから出された意見がまとまったものがあるので、それも踏まえてイメージを考えてもらいたい。

(迫委員) 委員の意見が一丸となって提案できれば素晴らしいが、ちょっと難しいのではと感じた。過去の懇談会から、事前にテーマ内容を伝えており、緻密に検討したとしても、条例に反するのでできないと市長以外に回答されてしまうのではないかな。まずは、我々の意見に対する市長の考えを引き出せれば、こちらの意見がまとめやすく、よい回答に繋がるのではないかな。

(笹原委員) 確かに具体案を提出すると、良いか悪いかで判断されてしまうと思うので、「街の駅」がどれだけ相武台地区の利益になり、人々の充実感や幸福度の向上に繋がるのかを伝えられるとよいのではないかなと感じた。

(溝口委員) 過去も含め、皆さんの意見を取り入れたものが「街の駅」であり、この中の何を実現させるかは未知数とし、実現に向けてはプロジェクトチームで検討していきたいので、まずは設置をしてほしいと伝えては。

(笹原委員) 「街の駅」としてのテーマは「健康・癒し・脳活の世代交流」であり、過去の皆さんの意見も包含できるものになっている。

(松嶋会長) 今年だけではなく、今後も続けていくテーマだと思っている。

まずは、街の駅に対する皆さんの意見について、過去のまちづくり会議で出た意見も参考にしてもらい、9月10日までに意見を提出いただきたい。

→出席者には会議終了後に書類などを渡した。欠席者には郵送等で対応。

(根本委員) テーマで提案のあったゴミ置場について、自治会に提案することとなったが、半分の人しか加入していない自治会で解決するのは難しいと感じている。そういった思いがあり提案しているかもしれないので、懇談会とは別で構わないので、この場で市と意見交換できる機会をお願いしたい。

(松嶋会長) 相武台地区でゴミの問題があるのは戸建てが中心で、マンションでは問題となっていない。ゴミに関する内容として、関係課を呼ぶことはできるので、市に要望をしておく。

#### ウ 座席表及び役割分担について

会長より資料について説明を行い、司会は奥野理事、懇談進行は高橋副会長、

テーマ発表者は笹原委員が担当することとなった。

(4) 各団体等からの依頼事項、お知らせ事項

(白井委員) 懇談会のテーマ検討時に子ども食堂について意見があり、相武台地区には1カ所しかないようだが、場所がわからないとのことであった。

(松嶋会長) 実態はわからないが、相武台団地の商店街にあると聞いている。

(溝口委員) 相武台団地の活性化のため、商店街と住宅供給公社によるグリーンラウンジ・プロジェクトとして、ひばりカフェの佐竹さんが学生に手伝ってもらい「ひよこ子ども食堂」を運営しているが、常時開いている訳ではない。

(長堀委員) 周知されていないことは喫緊の問題であると思うので、自治会の掲示板でお知らせすることなどは協力できる。

(高橋委員) 市全体の子ども食堂マップは市社会福祉協議会に掲示されている。

(川崎委員) 新磯地区では、回覧板に子ども食堂の情報が載っていた。

(荻原委員) 相武台団地にある「ひよこ子ども食堂」は毎月1回実施しており、献立はピラで配られている。日曜日に実施だったと記憶している。

(川崎委員) 学校のお知らせに情報として載せてもらおうとよいのではないか。

(溝口委員) もし一気に人が来てしまうと、対応できない可能性がある。

(砂村副会長) 年度初めには、民生委員と主任児童委員で各学校の校長先生に挨拶に伺っており、子ども食堂と無料塾についての話は伝えている。

(笹原委員) 運営者である佐竹さんに相談して、周知できるのであれば、学校の昇降口にポスターなどを掲示すれば子どもたちの目に入るのでは。

(川崎委員) 特定の人だけに情報が伝わるのは本末転倒である。個人の趣味的に実施するのであれば浅く狭い周知でよいが、相武台地区内の貧困家庭の子どもたちのための実施であれば、平等に伝わる方策を考えないといけない。

(笹原委員) もえぎ台小学校の跡地には給食室や畑となるような場所もあるので、子ども食堂のようなものが「街の駅」で実現できるのではないか。

(松嶋会長) どこが主体的に取り組むべきものなのか、行政と相談していきたい。

(浅利委員) 近年、水の事故が増えており、相模川では中学生が亡くなる事故があった。消防団も水難救助に出動するが、活動を見守る家族や友人の姿を見ると胸が痛くなる。今年も残暑が続くと予想され、夏休み後もプールや川で遊ぶ子どもが多いと思うので、事故を無くすためにも、遊泳禁止の場所では絶対に泳がず、遊泳可能の場所ではルールを守るよう注意をお願いしたい。

消防団員は全国的に減少し続けており、相武台前消防団においても人員確保が課題となっている。研修や講習もしっかりと実施しており、入団することで防災知識を学ぶことができ、地域の防災力向上に繋がっている。毎月第1・3土曜日に活動、地域の防災訓練にも出向し、女性の消防団員も活躍している。少しでも興味ある場合は、活動の際などにお声掛けいただきたい。

(松嶋会長) 防災マップについては検討を休止しているところである。市にも防災マップがあり、ホームページで公開されているので確認してほしい。

相武台分館については、先日、津久井地区などの図書室等を見学してきた。町の図書館であったことなどから、コミュニティスペースなどの機能が充実しており、自然の中にあるため窓から緑が見えた。青野原図書室では、司書が自分の裁量でテーマや展示方法を決めており、面白い活動だと感じた。

## 5 その他

各内容について、会長より説明があり、意見等はなかった。

- (1) 次回のまちづくり会議の予定
- (2) まちづくりだより (第50号、第51号)



## 相武台地区まちづくり会議 委員出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	松嶋 保和	相武台地区自治会連合会	会 長	出席
2	高橋 孝雄	相武台地区社会福祉協議会	副会長	出席
3	砂村 久三子	相武台地区民生委員児童委員協議会	副会長	出席
4	宮本 憲雄	相武台公民館	副会長	欠席
5	奥野 智	相武台地区自治会連合会	理 事	出席
6	長堀 直美	相武台地区自治会連合会	理 事	出席
7	浅田 聡	相武台地区自治会連合会	理 事	出席
8	小林 勉	南区安全・安心まちづくり推進協議会 相武台支部		出席
9	荻原 正人	相武台地区青少年育成協議会		出席
10	永井 保子	相武台公民館運営協議会		出席
11	迫 良寛	相模原市青少年指導委員連絡協議会 相武台地区協議会		出席
12	織田 和彦	相模原市スポーツ推進委員連絡協議会 相武台地区協議会		出席
13	宮田 亜美	相武台小学校 P T A		欠席
14	白井 由美子	緑台小学校 P T A		出席
15	今村 貴子	もえぎ台小学校 P T A		出席
16	木村 由香里	相武台中学校 P T A		欠席
17	宇治田 幸子	相武台こどもセンター		出席
18	荻原 正人	相模原市立相武台第2児童館	9と重複	出席
19	高橋 尚	相武台地区老人クラブ連合会		出席
20	川崎 知恵子	相武台地域包括支援センター		出席
21	溝口 興二	相武台団地商店街		出席
22	遠藤 誠	相模原看護専門学校		欠席
23	浅利 達也	相模原市消防団南方面隊第2分団		出席
24	根本 健一郎	公募委員		出席
25	笹原 砂知子	公募委員		出席
26	小池 清史	公募委員		出席